

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	榎塚幼稚園	階数	地上2F 地下1F
建設地	大阪府堺市南区	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域 法22条	平均居住人員	322 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2019年11月20日
敷地面積	5,325 m ²	作成者	樺木貞夫
建築面積	2,298 m ²	確認日	2019年11月20日
延床面積	2,533 m ²	確認者	樺木貞夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
木造架構と住宅的スケールの保育室、その先に広がる緑あふれる外部空間が、園児たちに安らぎと落ち着きを与えるよう考えた。一方、共用部や遊戯室は開放感のある高い天井とした。私と公の変化を与えるものとした。	0
Q1 室内環境 保育室の廊下側に広い開口部を設けながらも、軒の出の先にどこにでも緑の見える環境とした。	Q2 サービス性能 保育をサポートする周辺機能に配慮し、そうじ、くつのはきかえ、園庭利用、バス待ち点呼、セキュリティ等の動線に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内) 内外中間領域として、軒下空間を広くとった。雨天時や夏の日射を避ける屋外空間とした。また、一部であるが高低差を利用した変化のある遊び場を設けた。	LR1 エネルギー 軒の出を十分にとり夏の日射対策とした。屋根断熱をグラスウール厚200とし、かつガラスはLow-Eとした。
LR2 資源・マテリアル 屋根の架構は大断面集成材による木造屋根とした。	LR3 敷地外環境 公園に囲まれた立地にある。公園環境を損ねることのないよう、ほとんど平屋の低層建築物とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	槇塚幼稚園	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区	1.3	B+
	主用途/延床面積	学校(小中高) / 2,532.95 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	5	●●●●●
安全快適な暮らし	4	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.0	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	4
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	5.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0	○

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	